

ぼくが、ほいくえんのころのことを、話
す。ぼくは、さいしょ「ありがとう」って言
えませんが、でした。でも、ぼくは、つらかった
けど、がんばりました。
次にぼくが一年生のころのことを話
ます。ぼくは、一年先になったとき、少し
しゃべれるようになった。ぼくは、少し
しゃべれない。とおもいました。
でも、しゃべれない人がいたので、ど
んどん話すのが、はかしくなりました。〇〇
くんとうんこうを、しま
かして、２人でよくおんどうを、しま
した。
ぼくは、そのとき自分のくらすで、大
きな声でしゃべるのは、はじめてで
した。ほうかごし
た。おかげで、少ししゃべれる
ようになった。
次に、また一年生のころのことを
話します。ぼくは、たんに先生の
ことをよくパソコンを、
たんに先生のパソコンを、する
のは、とてもおもしろかったです。
パソコンが、おわたるとき、あ
やとりをします。たんに
の先生とあやとりをするのが、た
んにのしみでした。
ぼくがパソコン教室であそんだ
ことは、パソコン、あやとりな
ど、いっぱいしました。

さいごは、先生とおてがみこうかんをしました。おてがみこうかんは、先生が知らないことを、教えるこうかんです。ぼくも知らないかったとし四十七才と教えてもらいました。先生のことがいっぱい分かったので、「先生と一年生の子ども」といっしょにしゃべれそうでした。でも二年生になったらまたしないこがいっぱいいました。ぼくは、三年、四年、五年、六年、ぜんぶしらない子がいたら中学生になってとてもつらいかなあと思いました。であと一年たったときまたしらない子もいたけどがんばろうかなあとおもいました。それががんばったからしゃべれるようになりました。ぼくは、さいしょ一分間スピーチをよむのは、はずかしかったけど、今はしゃべれるのでいきなり一分間スピーチもよめるようになったので、とってもうれしかったです。ぼくは、四年生になってもふわん（不安）はぜったいにならないとおもいました。三年生でしゃべれるようになったからとってもうれしかったです。

です。（二年生のはじめに話せなかったけど、三年生のはじめにがんばって話せた

ので四年生になっても不安はないという意味）